

## 新型コロナウイルス蔓延を防ぐための学生生活について

### —学生のみなさんへ—

#### 【現状】

- ウィルスは目に見えないものです。特に若い学生諸君は、感染しても症状が出ない、気づかないうちに他人に感染させる可能性があることを自覚して下さい。
- これまでのデータから、国内では少数の感染者（約2割程度）からしか、次の感染が起きていないことがわかっています。今までの感染が起きてしまった例の共通項を分析した結果、換気が少ない閉鎖空間で複数人が一定時間、手を伸ばせば触れる近距離で会話をするような機会が危険であることがわかっています。

#### 【行動への対応】

- 懇親会、食事会、合宿等は中止または延期して下さい。また、課外活動やサークル活動での試合や大会への参加、合宿も中止または延期して下さい。自宅を含めた複数人での会食の機会も避けてください。
- 国内旅行（実家への帰省を含む）海外旅行については、愛知県内の感染リスクが高いことから、当面の間控えることが望まれています。全国や海外への感染を広げるにつながる行動は避けてください。
- 屋内では十分な換気（部屋の大きさにもよりますが1～2時間毎に5～10分程度）に努めてください。会議などでの場合には、人数を制限し、距離を十分に確保し、時間を限定するなどして下さい。学生の課外活動やサークル活動の例会は、この措置が取れない場合には実施を見合わせてください。
- 利用者の多いスポーツジムの利用、不特定多数の人と接触するアルバイトは自粛してください。
- 近距離での会話や発声等の際にはマスクを使用してください。

#### 【身体への対応】

- 毎朝検温して自身の体調を管理し、風邪の症状や発熱（37.5度以上）がある場合は、自宅待機として下さい。一人暮らしの人は、数日の食料確保などを心がけ、体調に異常がみられた場合は、症状が急激に悪化することがあるため、家族や友人などと毎日連絡をとるようにして下さい。
- 手洗い、可能であれば手指消毒と咳エチケットを徹底して下さい。
- 自身の口腔健康に努めるよう歯磨き、うがいを励行すること。
- 現在、政府は風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続いている場合には電話での受診を推奨しています。その際には「帰国者・接触者相談センター（保健所）」（TEL052-954-6272）（千種区保健センター TEL052-753-1982）に相談して下さい。

新型コロナウイルス感染症の蔓延を予防し、自分自身の健康を保持するため、医療職の学生として皆様の一人一人の責任のある行動をお願いします。